

## ペスト

## 1類感染症

## はじめに

- ・日本では1927年以降、国内感染例の報告はない。

## 届出

- ・**臨床診断時点**、検査による**確定診断後**に診断した医師より発生届提出（**診断後直ちに**）  
（参考）  
学校保健安全法上第1種の感染症に定められており、治癒するまで出席停止とされている。

## 医療機関が問診・診察時に確認する情報

- ・発症日からの症状と経過

腺ペスト	敗血症型ペスト	肺ペスト
リンパ節組織の壊死	急激なショック症状	強烈な頭痛
膿瘍形成	昏睡	嘔吐
リンパ節腫脹と疼痛 (クルミ～アヒル卵大)	手足の壊死	40度前後の高熱
発熱	紫斑	急激な呼吸困難
頭痛	化膿性潰瘍（眼など）	鮮紅色の泡だった血痰を伴う 重篤な肺炎
悪寒	出血性炎症（眼など）	
倦怠感	敗血症型ペストに移行してから 2～3日以内に死亡	肺ペスト発病後24時間以内に死亡
（稀に）化膿性潰瘍、出血性炎症		

- ・患者居住地
- ・現在の所在地（入院、外来、自宅）
- ・海外渡航歴（アフリカ、南米等）
- ・渡航先での患者確定例との接触歴
- ・採血や胸部レントゲン検査等の結果
- ・ノミの刺咬痕の有無
- ・犬や猫等ペットや齧歯類など小動物との接触歴
- ・同居家族等の有無
- ・家族内の未就学児や抗がん剤治療等免疫低下リスク有無
- ・鑑別検査の結果

潜伏期は  
腺ペスト：3～7日  
敗血症型ペスト：3～4日  
肺ペスト：2～3日

## 接触者の健康診断

- ・感染可能期間は**発症から有効な抗菌薬投与開始後48時間を経過するまで**。  
ただし、死亡直後の患者の血液や体液も感染性があるので注意。無症状病原体保有者には感染性はない。
- ・感染可能期間に、**適切な感染予防策なしに患者とおおよそ2m以内の距離で接触したり患者の血液や体液の曝露があった**職員や入院患者、外来患者、外部業者等をリストアップし下記□内確認。

対象者	例
適切な感染予防策なしに患者と おおよそ2m以内の距離で接触したり、 患者の血液や体液の曝露があった人	肺ペスト患者への気管内操作時のエアロゾルの吸引
	血液・リンパ節穿刺に伴う針刺しなどの血液・体液曝露
	検査室での培養検体からの曝露

- ・患者との接触状況（日付、場所、接触内容）
- ・接触者の調査時の状態（症状の有無）
- ・ハイリスク〔透析等基礎疾患、妊娠、免疫低下〕の有無

- ・肺ペスト確定患者との最終接触日を0日目として**7日間**、抗生物質の予防投与または症状出現がないか健康観察。  
妊婦では有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与。